

パブリック・コメントにおける具体的なご意見等

令和3年2月8日

	ご意見等	それに対する回答等	計画への反映
1	コミュニティ・スクールを本市では全校で進めているが、そのあたりは、本計画ではどのように示しているか。	コミュニティ・スクールについては、アンケート調査においてテーマの一つとしています。そのことを踏まえ、本計画の中でも基本施策5「家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進」でコミュニティ・スクールの推進を施策の柱の一つとして重点的に取り上げています。	□
2	和光市では、地区社会福祉協議会の推進も進められているが、そことの連携は。	教育委員会としてもその認識であることから、基本施策5のところで、現状と課題、主な取組例のところにも明記しています。	□
3	子供たちが将来活躍する社会は、今の産業構造や就業構造とは違う社会であると考え。そのあたりの教育はどう考えているか。	社会の現状や将来像等については、第2章「教育を取り巻く環境の変化」や第3章「本市が目指す教育の基本理念と施策体系」等に示しました。少子高齢化やグローバル化、予測困難な社会、Society5.0などがキーワードとしてあげられますが、いずれの社会においても、自分の将来を主体的に切り拓ける子供たちの育成に必要な教育の方向性が本計画の本質であると考えています。	△
4	子供たちの学習環境がより良いものになっていくことはとても大切なことだが、学校施設整備については、どのように考えているのか。	本市としても学校施設整備の重要性を認識しています。そのことから、基本施策6に「安全安心な学校施設の整備」として柱を立て、「和光市小中学校個別施設計画」に基づいた対応の方向性を示しています。	□
5	人口増加がいまだに続いている中、通学区の変更等についてはどうか。	基本施策3「質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実」において施策3のところで通学区の見直しについて明記しています。	□
6	国指定史跡となった午王山遺跡については、何か記載はあるのか。	基本施策9「歴史的・文化的資源の保存・活用と創造的な文化の振興」において、その保存や活用、学ぶ機会の醸成等について明記しています。	□
7	これからの学校教育では、多様化・複雑化する問題に具体的に対応していくために、専門家等との連携など「チーム学校」という考え方が必要になってくるが、そのあたりはどうか。	チーム学校は、学校の組織運営改革として「次世代の学校・地域」創生プラン(馳プラン)に示された、これからの学校運営の方向性かと思えます。基本施策3「質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実」の施策2「働き方改革を踏まえた学校の組織運営の改善」において、コミュニティ・スクールの推進とともに明記し、推進してまいります。	○
8	総論において、社会や教育の状況を細かく分析して課題を抽出、その課題に対して各論で解決に向けた方向性が示されている。特に取組等において、和光市の教育行政としての特色のようなものは示せるか。	教育振興基本計画が、中・長期的な計画であることから、国や県で示されているような、広くとらえられる言葉を使用しており、特色的にとらえにくい部分があるように思います。より具体的な取組等は、毎年度示す予定の和光市教育行政アクションプランにて、その年度の重点的な取組を示す予定です。今後、そちらも併せてご覧ください。	△
9	各論において、基本施策1～6に対して基本施策7～10の数が少なく見える。施策に対して取組例が1つのところもあるが、もっと示した方がよいのではないか。	ご指摘の内容を精査して、一部修正しました。	○

◎: 意見を反映し案を修正した ○: 意見を一部反映し、案を修正した △: 案を修正しなかった
□: その他(感想、この案件以外への意見等)